

2017年4月10日

内閣総理大臣 安倍 晋三 殿
復興大臣 今村 雅弘 殿

日本共産党福島県議会議員団
団 長 神山 悦子
阿部裕美子
宮川えみ子
宮本しづえ
吉田 英策

今村復興大臣の自主避難者に対する 「自己責任」発言に強く抗議し、辞任を求める

東京電力福島第一原発事故に伴う自主避難者への住宅無償提供が3月末で打ち切られた。今村復興大臣は、今月4日の記者会見で、記者からこの住宅無償提供打ち切り後の政府の対応を問われ、「（避難先からの帰還を）どうするかは本人の責任」「裁判でも何でもやればよい」などと国の責任を放棄する発言をした。

今村氏の発言は福島原発事故は人災ではない、自主避難も自己責任だというものであり、原発被害自体をまったく無視した暴論である。今村氏はその後、「自己責任という言葉は非常にまずかった」と述べたとされているが、認識の誤りについての謝罪はない。

4月8日福島県を訪れ、知事に謝罪したと報道されているが、もはや復興大臣の資格なしといわなければならない。

福島原発事故は、国と東電が引き起こした人災である。3月17日前橋地裁は判決で初めて国と東電の責任を認めた。避難指示のあるなしに関わらず、原発事故によって避難を余儀なくされている避難者のその苦悩や痛みに関心をもち、心寄せる立場はまったくなく、福島県の復興を牽引すべき職責を担う大臣の発言として、上記発言を到底看過することはできない。

今村氏はこれまでも、福島県の風評被害に対し「生産者の努力がまだまだ足りない」、避難指示区域外からの避難者に対し「ふるさとを捨てるというのは簡単」などと述べ、度重なる暴言を繰り返している。安倍首相の任命責任も重大であると言わざるを得ない。

今回の発言に対し、強く抗議し、以下の項目について強く要望する。

記

- 1、自主避難者に対する「本人の責任」「裁判でも何でもやればよい」との発言は、国の責任を放棄するものであり、原発被害自体をまったく無視した暴論であることに厳しく抗議する。
- 2、認識の誤りを認め、福島県民へ心から謝罪することを強く求める。
- 3、復興大臣の辞任を直ちに求める。

以 上